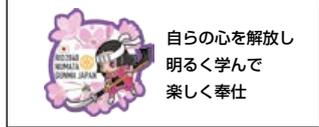




2023-2024
No.1724
2023.11.16

会長：武井順一 幹事：関美津男
会員数：48(内2名特別会員) 会場出席：26 欠席：22
出席率：56.52% 前々回出席率：97.83%
点鐘：武井順一 会長 司会：武井正男 副S A A
ロータリーソング：我等の生業 (ソングリーダー：齋藤 豊)
例会場：ホテルペラヴィータ 3F 12:30～



お客様

沼田市経済部観光交流課交流促進係 係長 田辺昌明 様
沼田市地域おこし協力隊 移住促進担当 山本潤太郎 様

会長の時間

武井順一 会長



昨日は狩猟の解禁日でした。今年は山の栗やドングリが不作で熊が人里に下りてきて、各地で人が熊に襲われる人的被害も大変多くなっているようです。また熊だけでなく、猪や鹿に襲われて命を落とした方もいたそうです。地球の温暖化により野生動物の生息域が広がった事に加えて、狩猟者の減少が重なっているのではないかと考えられます。

私が狩猟を始めたのは今から40年位前ですが、その頃は熊による人的被害の話などほとんど聞かれなかったですし、猪などは利根沼田地方には生息もしていなかったと思います。鹿なども片品の奥の日光方面に行かなければ出会えなかったほどでした。それが最近では沼田公園の北側斜面の山でも熊が出たという話をたびたび耳にしますし、猪もどこに出てもおかしくない位増えています。猪についてはここ数年、ブタ熱という伝染病が蔓延してだいぶ生息数が減っていましたが、昨年頃からまた増え始めています。

鹿については周辺の山に驚くほど増えていて、私の家の近くにも時々やってきます。尾瀬ヶ原の水芭蕉やニッコウキスゲを食べてしまう食害が問題になっていますが、尾瀬ヶ原は国立公園で猟が出来ないので、周辺の片品村では夏の間に銃や罠で何千頭もの鹿を駆除して少しは生息数が減っているようですがまだまだ駆除しきれないようです。

一部の自然保護の方は野生動物を殺すなと言っていますが、本当の自然の状態を知らないからだだと思います。山の中を徘徊している犬や猫は、野良猫・野犬といって家庭で飼育しているペットとは区別して狩猟の対象としています。その犬や猫を見てもそれを銃で撃つ人はいません。その犬や猫が飼い犬・飼い猫かそうでないかただけでは判断出来ない事もありますし、その肉を食べる人もいないからです。

また、鹿や猪を狩ると自治体から1頭につき8,000円

の報奨金がもらえます。これは、鹿や猪による農林業の被害減少を目的として、国や県から自治体に交付金が出ているからだそうです。熊には出ません。

北海道では1頭あたり15,000～20,000円程もらえるそうで、職業として鹿猟をする人もいます。

私が猟を始めた頃は道楽者の遊びとしか見られていなかったようですが、(今でもそれに近いですが)少しは社会に貢献しているのかなという気もするところです。

幹事報告

関美津男 幹事



- ①11月9日の理事会の報告を致します。(別紙)
- ②11月11日(土)に前橋RC創立70周年記念式典と祝賀会が前橋商工会議所で行われ、会長・幹事で出席して参りました。地区内有数のビッグクラブだけに行政、経済界から多くの参加者が集い、厳かにそして盛大に実施されました。
- ③寄付金の引落しを11月20日に行いますので、残高の確認をお願い致します。
- ④来週11月23日は祝日休会となります。
- ⑤12月14日の例会は夜間例会に変更し、クリスマス家族会と致します。ご家族お誘い合わせてご出席願います。
- ⑥地区内各クラブより例会変更の案内が届いています。

ソングリーダー

齋藤 豊 会員



出席報告

吉住正史 委員



ニコニコ BOX 報告

原澤ふじ子 委員

武井 順一・関 美津男

- ①沼田市経済部観光交流課交流促進係 係長 田辺昌明様、沼田市地域おこし協力隊 山本潤太郎様、ようこそお越し下さいました。卓話、宜しく願い致します。
- ②11月11日に前橋RC創立70周年記念式典に幹事と二人で参加してきました。前橋RCは発足時は35名だったそうですが、現在は116名という大所帯で式典も大変盛大に行われました。

北野 浩司郎

今日は年に一度の松茸ご飯です。今年は特に松茸が高価でしたのであまり量が入っていませんが、どうぞお楽しみ下さい。

生方 眞司

本日でご利用いただきありがとうございます。秋の味覚、松茸ご飯です。

石田 宇平

今日はおいしい松茸ご飯をいただきに来ました。

『ロータリーの友』の解説



10月号 高橋昭紀副委員長



11月号 小林若葉委員長

本日の卓話



紹介者 公共イメージ委員会 小林若葉委員長
沼田市地域おこし協力隊 移住促進担当 山本潤太郎 様



沼田市経済部観光交流課交流促進係 係長 田辺昌明 様

地域おこし協力隊とは、

- ・総務省が2009年から運用開始
- ・総務省が特別財政措置を行い自治体が雇用
- ・都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組み
- ・現在全国で約1000団体が受け入れており、約6500人が活動中
- ・沼田市には3人の現役隊員（薄根地域ふるさと創生推進協議会・南郷の曲屋・移住担当）

山本さんは、大学生の時に片品村でアルバイトする機会があり、そこで沼田在住のスタッフと親しくなり、沼田に遊びに来るうちに沼田にハマリ、そして地域おこし協力隊募集の話聞いて応募、採用されたそうです。すごく稀な話ではあると思いますが、沼田への愛情と今後の移住促進への可能性を丁寧に語って下さいました。これからも頑張ってください。

